(1) 昭和50年5月15日発行　第730号　旬刊とかち新聞　(昭和32年5月27日第3種郵便物認可)

とかち新聞

主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話2551番
毎旬5の日発行 1カ月200円 1カ年前細2,000円

新町議会のスタート 足寄 本山

改選後はじめての臨時議会は九日午前二回足寄町議会は九日午前十時から全議員が出席して、山本事務局長が年長の大塚正夫氏を臨時議長として紹介、大塚氏が議長席について「このたびの選挙でお互いに当選の栄をになって議席を得たが、初対面の方もいるので住所、氏名の自己紹介を願いたい」とはかって年長順の仮議席からそれぞれ自己紹介があり、小林町長から『議員の各位におかれては日ごろの立派な人格と活動から地域のみなさまの深い信頼をうけられけしい選挙戦において立派に当選され心からお祝い申しあげる、私も当選させて頂いたが、各位のご期待にこたえて全力をて各委員会ごとで正副委員長を互選した結果

▲総務常任委員会
委員長　吉田吉之助
副委員長　鷲足　賢
委員　矢野寛一　大久保繁
委員　鳴海一郎　松崎　稔

▲産業経済常任委員会
委員長　神本三也
副委員長　高橋佳夫
委員　遠山　謙　斎藤祐一　大塚正夫　多治見敏一　畠　正吉

▲建設常任委員会
委員長　高橋　募
副委員長　石田富男
委員　佐々木政一　久保田庄太郎　花田幹男　五十里信雄

▲文教厚生常任委員会
委員長　阿部俊夫
副委員長　香川博彦
委員　大浦武夫　横田文治　板谷掘平　高橋幸雄

の各氏に決まりました。

組合議員に特別委

ついで各種組合議会の議員については正副議長、常任委員長に人選一任となり▲足寄町ほか二町十勝オンネトー青年の家組合議会
▲十勝教職員研修センター組合議会
大久保　繁氏
▲帯広市ほか十九カ町村高等看護学院組合議会
大滝弥助氏
▲池北三町消防事務組合議会
大滝弥助、大久保繁、吉田吉之助氏

大滝議長、大久保副議長

はじめに大塚臨時議長によって議長選挙がおこなわれ、単記無記名投票の結果

大滝弥助氏　二十一票
大野寛一氏　三票
大久保　繁氏　二票

で大滝氏が三期連続当選して『このたびご推薦により再度議長に選ばれ光栄で感謝申しあげ、よろしくご指導、ご鞭達とご協力をお願いさつして議長席について、会期を一日と決定して副議長選挙に入り

大久保　繁氏　二十二票
遠山　謙氏　二票
矢野寛一氏　一票
一鳴海一郎氏　一票

で大久保氏が初当選して『副議長に選任されその感激と責任の重さに心身ともに引きしまる思いで、もとより浅学非才のものだが幸い大滝名議長のもとにあって使命を果し公平中立を旨としてみなさまのご期待に添うように最善をつくしたいのでご鞭達願いたい』とあいさつしました。

常任委員会を構成

議席を決定してから、常任委員の選任にうつり、各議員から所属希望をとりまとめたうえ正副議長がこれを調整して四委員会を構成し

に決定、神本議員が提出の池北線合理化問題対策特別委員会の設置については全会一致で賛成して、一任となり、委員の互選により

委員長　神本三也
副委員長　横田文治
委員　矢野寛一　鳴海一郎　大塚正夫　多治見敏一　畠　正吉
副委員長　高橋募
委員　高橋佳夫　鷲足賢

の各氏となりました。

議運委の内規をめぐりひと論議

このあと議員協議会にうつって、議会運営委員会の設置について協議をおこない、事務局で用意した内規についてひと論議となりました。

議運委が取扱う事項としては

一、会期の決定
二、議事日程
三、一般質問ならびに緊急質問の取扱い
四、特殊な請願、陳情の取扱い
五、適用例の確認
六、議会関係の条例、規則規程、内規などの取扱い
七、議会選出委員の選考
八、懲罰事件をめぐる言動の処理
九、議員の慶弔
十、議長の諮問

となっていましたが、鳴海議員から八項の懲罰関係は除くべきだとの意見が出てこれを認め、矢野議員からこの委員会に議長、副議長も出席して、議会運営委員会の設置については全会一致で賛成して、一任となり、委員の互選により

委員長　神本三也
副委員長　横田文治
委員　矢野寛一　鳴海一郎　大塚正夫　多治見敏一　畠　正吉
副委員長　高橋募
委員　高橋佳夫　鷲足賢

の各氏となりました。

議運委の内規をめぐりひと論議

このあと議員協議会にうつり、